

# 平成21年度 佐賀県社会体育優良団体表彰

## 《 表 彰 式 》

日 時 平成22年2月2日(火) 14時00分～  
会 場 正庁(県庁 本館4階)

### 式 次 第

1. 開 式
2. あ い さ つ
3. 受賞団体の紹介
4. 表 彰
5. 受賞団体代表のことは
6. 閉 式

(記念写真撮影)

平成21年度 佐賀県社会体育優良団体表彰 受賞団体一覧

スポーツクラブ

No.	団体名 (推薦団体名)	設立年月	代表者氏名 組織の構成	主要事業・活動状況等	推 薦 理 由
1	ゆうゆう 佐賀友誘クラブ (佐賀市体育協会)	昭和63年 4月	大塚 日出治 会員56名	・毎週6回 年間約300日活動 ・県シニア大会等大会への参加(27回) ・地元小学校の清掃・防犯活動(30回)	実年(50歳以上)からハイシニア(65歳以上)までの会員が、各自の技術に応じて、年間を通して早朝練習を行い、健康の保持増進と会員相互の親睦の和を拡げながら、生涯にわたりソフトボールに親しんでいる。 また、学校や体育協会の行事にも積極的に協力しており、練習会場の地元小学校においては、登校してくる児童にあいさつを奨励するなど、地域の安全と防犯活動にも貢献している。
2	肥前ジュニアバドミントンクラブ (唐津市教育委員会)	昭和50年 4月	山口 衛 会員22名	・毎週2～3回 年間約100日活動 ・県内外の大会への参加(20回) ・親子バドミントン大会の開催(1回)	昭和50年に設立されて以来、34年の長きにわたり、継続して活動され、その間に多くのバドミントン愛好家を輩出し、地域のスポーツ振興に寄与している。 また、バドミントンの技術を高めるだけでなく、会員や親子の交流を図り、県内外の大会にも積極的に参加し、九州大会や全国大会に連続出場するなど、各種大会で優秀な成績を収め、他のクラブの模範となる活動を行っている。
3	さんこう 伊万里三香クラブ (伊万里市教育委員会)	平成元年 4月	下平 康則 会員48名	・毎週3回 年間約150日活動 ・県内外の大会への参加(23回) ・親子キャンプ、親子研修会(1回)	「日々自己を鍛錬し、己に勝つ」をクラブ理念に掲げ、競技力の向上に努め、全国学童陸上大会にも優勝者を輩出している。 また、「楽しく走れ」を合言葉に、子供達の発達段階に応じた適切な練習メニューや指導方法により、年々会員数も増加しており、練習の始めと終わりのあいさつの励行や、会員相互が学年を越えてお互いを思いやるなど、心身ともに健全な子供達の育成に貢献している。
4	三根西少年野球クラブ (みやき町教育委員会)	昭和55年 4月	永田 徹 会員43名	・毎週5回 年間約250日活動 ・県内外の大会への参加(27回) ・筑後川交流少年野球大会の開催(1回)	昭和55年に設立されて以来、29年の長きにわたり、少年野球を通してクラブ員相互の融和を深め、心身共に健全な児童の育成を図っている。本年度は、全日本学童軟式野球大会県大会で見事優勝を勝ち取り、全国大会に県代表として出場した。 また、町少年スポーツクラブ振興会に加盟し、他競技のクラブとの交流事業にも積極的に参加したり、交流大会の主催団体となり、町外からの団体を招待するなど、生涯スポーツの発展に寄与している。
5	杵島クラブ (大町町教育委員会)	平成9年 5月	山崎 ひとみ 会員26名	・毎週2～3回 年間約110日活動 ・県内外の大会への参加(5回) ・日本女子リーグ補助員(2回) ・中学生指導(3回)	女子ソフトボールを通して、健康づくり・仲間づくりを深め、会員全員の融和と生涯スポーツの発展に寄与することを目的に設立された。社会人で構成されたチームで、仕事が終わった後に練習に励み、日没が早い冬場は体育館でトレーニングを行うなど競技力向上に努め、今年度は全国大会初優勝を果たした。 また、町教育委員会と連携してウィンドミル教室を開催したり、県協会主催の大会補助員や中学生への指導も積極的に行っている。

平成21年度 佐賀県社会体育優良団体表彰 受賞団体一覧

スポーツクラブ以外の団体

No.	団体名 (推薦団体名)	設立年月	代表者氏名 組織の構成	運営・活動状況	推 薦 理 由
1	唐津市ソフトボール協会 (唐津市体育協会)	昭和35年 5月	曲淵 直喜 会員360名	・構成団体(18) ・年間主催大会(16回) ・年間受託大会(2回)	昭和35年に設立以来、49年の長きにわたり、幅広い年齢層にソフトボール競技を普及させるために、学生・一般・壮年ごとに大会を主催したり、協会役員で協賛金を集めて運営資金にするなど、協会の自主運営や組織強化に取り組んでいる また、地域の小中学生・青年層を対象に講習会を開催するなど、ソフトボール競技の発展はもとより、青少年の健全育成に寄与している。
2	鳥栖市空手道連盟 (鳥栖市教育委員会)	昭和50年 4月	田尻 豊實 会員120名	・構成団体(3) ・年間主催大会(3回) ・空手道教室の開催(50回) ・県内外の大会への参加(8回)	昭和50年に設立以来、幼児から一般成人を対象に、指導者の育成や大会の開催に積極的に取り組んできた。特に市内の小中学生を中心に、年間を通して週1回空手道教室を開催するなど、競技人口の拡大に努めている。 また、県体や国体の出場に向けて選手を育成・強化したり、ちびっこ空手道教室に講師を派遣するなど、市のスポーツ振興や青少年の健全育成にも貢献している。
3	多久市弓道連盟 (多久市教育委員会)	平成11年 3月	富増 晃二 会員14名	・構成団体(1) ・年間主催大会(15回) ・定例射会(10回) ・県内外の大会への参加(9回)	平成11年に設立以来、弓道競技を普及するために初心者を対象にした弓道教室を開催するなど、地域に根ざした積極的な活動を展開している。特に、小学生・中学生の競技力向上のために、一般社会人との合同練習会を開催するなど、世代間の技術交流や青少年の健全育成にも寄与している。 また、県体の会場地になった際には、仮設弓道場の整備のために、周到な準備・計画のもとに大会を成功させる等、自主的な連盟運営は他の競技団体の模範となっている。